

2024年1月26日

## 産業別四半期見通し調査結果 (2024年1～3月期見通し)

### ■長野県産業天気図

#### ◇2023年10～12月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が7業種、「小雨(低調)」が2業種となった。

#### ◇2024年1～3月期の見通し

- 「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が7業種、「小雨(低調)」が2業種となった。方向感では、「やや上昇」が1業種、「横ばい」が10業種、「やや下降」が2業種となっている。

天気図記号	2023年 7～9月期現況	2023年 10～12月期現況	2024年 1～3月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
 薄日(順調)	3 業種	3 業種	3 業種
 曇り(普通)	8 業種	7 業種	7 業種
 小雨(低調)	1 業種	2 業種	2 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種

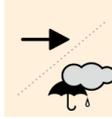
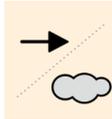
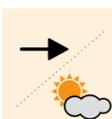
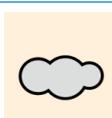
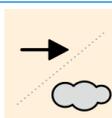
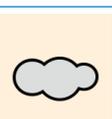
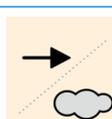
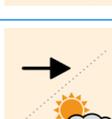
### ■1～3月期見通しのポイント

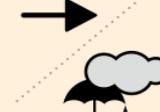
- 製造業、非製造業ともに天気図は変わらない見通し。

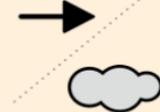


## <産業別天気図一覧(12業種)>

- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2023年12月中旬～2024年1月上旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の107社

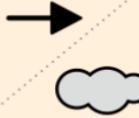
業種	前期 (23年7～9月期)	今期 (23年10～12月期)	来期 (24年1～3月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			

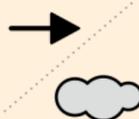
生産用機械	自動車関連やIT関連を中心に受注は低調
<p>● 現況</p> 	<p>生産用機械の受注は、IT関連ではPCやスマートフォン向け半導体需要の低迷が続き低水準だった。また、自動車関連では完成車の生産が増加したものの、電気自動車(EV)の需要拡大ペースの鈍化から部品メーカーを中心に投資への慎重姿勢が高まり、受注は減少した。今後も、IT関連、自動車関連を中心に引き続き受注は低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>工作機械</b>の受注は、国内の自動車関連では部品メーカーを中心にEVの需要増加の不透明感などから、慎重な投資姿勢が続き減少する見込み。海外は、東アジア、北米を中心にIT関連で、また、中国では景気減速の影響から、いずれも受注は低調な見通し。</li> <li>● <b>半導体製造装置</b>の受注は、IT関連の半導体需要が回復せず引き続き低調な見込み。</li> </ul>

電子部品・デバイス	産業用やIT関連の受注は伸び悩む一方、車載用は順調な見込み
<p>● 現況</p> 	<p>電子部品の受注は堅調に推移した。海外景気の減速やPC・スマートフォン向け半導体の在庫調整が続いたことで半導体製造装置向けなどの産業用やIT関連が低調だった一方、車載用は半導体不足が改善し完成車メーカーの生産が増加したことから順調に推移した。今後は、海外景気の減速による需要の減少などから産業用やIT関連は伸び悩むとみられるものの、完成車メーカーの生産が増加していくことで車載用は順調に推移し、総じて受注は堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>産業用やIT関連</b>は、海外景気の減速に伴う需要の減少などで受注は伸び悩む見通し。</li> <li>● <b>車載用</b>は、半導体不足が解消に向かうことから受注は順調に推移する見込み。</li> </ul>

自動車部品	車載用半導体不足が解消に向かい、受注は順調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>車載用の半導体不足が緩和し、完成車メーカーの生産が増えたことに伴い受注は増加した。今後も新車需要が堅調なことに加え半導体不足が解消に向かうことから、完成車メーカーの生産は増加するとみられ、受注は順調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>国内・北米向け</b>は、スポーツ用多目的車(SUV)を中心に新車需要が堅調なことに加え、引き続き半導体不足が解消に向かうことで、受注は順調な見通し。</li> <li>● <b>中国向け</b>は、景気の減速に加えて電気自動車(EV)の普及が進むため、ガソリン車を主体とする日系完成車メーカーの販売は伸び悩み、受注は低調な見通し。また、<b>東南アジア向け</b>は、景気の減速の影響などから需要は力強さに欠け、受注は伸び悩む見通し。</li> </ul>

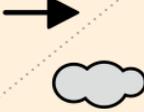
飲料製造	製品価格の上昇により売り上げは底堅い見通し
<p>● 現況</p> 	<p>飲料需要は、観光による人出の回復や年末の宴席の増加などにより持ち直したことに加えて、製品価格の上昇もあり、売り上げは堅調に推移した。今後は、コスト上昇分の価格転嫁が進むことで販売数量への影響も予想されるが、全体としては売り上げは前年水準を維持する見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>お茶やミネラルウォーターなどの清涼飲料</b>は、増加する外国人観光客向けやオフィス・工場向けの需要が堅調な見通し。</li> <li>● <b>清酒やワインなどのアルコール飲料</b>は、原料や資材などのコスト上昇分の価格転嫁が進むことによる買い控えも予想されるが、売り上げは前年並みを確保する見通し。</li> </ul>

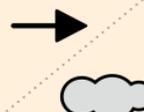
食料品製造	業務用は持ち直し、家庭用の売り上げも底堅い
<p>● 現況</p> 	<p>業務用は、外食などを中心に持ち直したほか、家庭用の需要も堅調で、全体でも底堅く推移した。今後は、外食などの業務用の需要増に加えて、家庭用も健康志向に配慮した製品などを中心に堅調な需要が予想され、売り上げは底堅く推移する見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・味噌・乾燥食品・加工肉は、無添加や素材へのこだわりを重視した製品を中心に売り上げは底堅い見込み。油揚げ・トマトソースなどは、飲食店など業務用を中心に、売り上げは堅調な見込み。</li> <li>・冷凍食品などは、調理が簡便で時短が図れることに加え、手作りに近い本格的な味を訴求した製品を中心に、売り上げは堅調な見込み。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	

機械器具卸	機械需要は低調な一方、建設・電設資材の需要は順調な見込み
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、投資への慎重姿勢から自動車関連が弱含んだほか、半導体需要の低迷からIT関連も低調だった。一方、建設・電設資材の需要は民間工事中心に安定した工事量があり順調だった。今後、機械需要は低調が続くものの、建設・電設資材の需要は順調な見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械などの機械需要は、自動車関連や半導体関連を中心に低調な見込み。制御機器などのFA機器の需要は、自動化ニーズを背景に底堅い見込み。切削用工具類などの消耗品受注は、自動車関連を中心に底堅い生産活動が見込まれており堅調な見込み。</li> <li>・建設・電設資材の取扱量は民間工事中心に安定した工事が見込まれ、引き続き順調な見込み。ただ、資材のうち電線ケーブルは商品が不足しており納期が長期化する見込み。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	

大型小売	食料品を中心に客数増加と販売価格上昇などで売り上げ増加を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、客数増加や価格転嫁による販売価格上昇などで売り上げが増加した。衣料品は、秋物を中心に堅調だった。今後も、販売価格は上昇するとみられ、売り上げは増加する見込み。このため、人手不足に伴う人件費の上昇はあっても収益面の厳しさは和らぐ見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・百貨店は、物価高などの影響からコートなど高単価な重衣料は苦戦するとみられるが、食料品は、物産展などの売り上げ増加が見込まれ、堅調な見込み。</li> <li>・スーパーは、客数増加に加え販売価格の上昇が見込まれ、食料品を中心に売り上げは増加する見込み。また、人手不足に伴う人件費の上昇がみられるものの、売り上げ増加に伴い収益面の厳しさは和らぐ見込み。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	

自動車販売	新車への買い替え需要は引き続き順調
<p>● 現況</p> 	<p>新車販売は、フルモデルチェンジをした車種を中心に順調だった。今後も底堅い買い替え需要が予想されることに加えて、車載用半導体不足による納車遅れが緩和されていくことから、販売台数は順調に推移する見込み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新車販売は、スポーツ用多目的車(SUV)や燃費性能が高い車種への買い替え需要が底堅いことから、順調に推移する見込み。</li> <li>・中古車販売は、買い替えに伴う下取り車の増加により、人気車種も価格が落ち着いていることから、底堅く推移する見込み。</li> <li>・輸入車販売は、納車遅れが緩和され、販売は持ち直し見込み。</li> </ul>
<p>● 見通し</p> 	

公共工事	防災・減災のための土木工事を中心に堅調な工事量を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>国土強靱化計画に伴う土木工事や三遠南信自動車道に関連した大型工事により、底堅い工事量となった。今後も、防災・減災を目的とする土木工事に加え、高速道路の補修や施設の長寿命化に伴う修繕なども見込まれ、堅調な工事量となる見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国では、三遠南信自動車道に関連した道路工事や、山間部や河川の防災・減災工事などが見込まれ、底堅い工事量となる見通し。</li> <li>● 県では、河川の砂防工事や道路改良工事に加え、施設の長寿命化に伴う修繕工事などにより、安定した工事量を見込む。</li> <li>● 市町村では、道路整備や施設改修などがみられ、工事量は堅調な見込み。</li> </ul>

民間工事	民間企業の建設投資を中心に底堅い工事量となる見通し
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、工場や店舗を新增設する動きがみられ、堅調な工事量となった。新築住宅は、分譲マンションの需要は底堅いものの、建築資材などのコスト高止まりの影響により総じて着工戸数は低調だった。今後も建築コストの高止まりは継続するものの、企業の建設投資を中心に、業界全体では底堅い工事量が見込まれる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業の建設投資は、工場や店舗の新增設などの動きを中心に、一定の設備投資需要が見込まれ、底堅い工事量となる見通し。</li> <li>● 住宅関連は、利便性が高い市街地のマンション需要は底堅いものの、建築コストの高止まりにより持家を中心に伸び悩み、着工戸数は低調な見込み。</li> </ul>

貨物	海外向けの工業製品を中心に荷動きは低調
<p>● 現況</p> 	<p>貨物量は総じて低調だった。食品・雑貨類は年末にかけて安定的な貨物量となったが、工業製品は自動車部品等の荷動きが改善したものの、海外需要の鈍化に伴い輸出品が低調だった。今後も海外向けの工業製品を中心に需要は弱く、全体の荷動きは低調な見込み。業界では「2024年問題」への対応に伴う荷主との運賃交渉を進めるが、各種仕入コストや人件費の増加分を補う価格転嫁は遅れがみられ、収益環境は厳しい見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工業製品では、自動車部品は完成車メーカーの増産に伴い貨物量の増加を見込むが、生産用機械や電子部品は中国関連の輸出が落ち込み、低調な荷動きとなる見通し。</li> <li>● 食品や雑貨類は、製品価格値上げによる需要減も見込まれるが、底堅い貨物量を見込む。</li> </ul>

観光	スキーや観光を目的とした外国人観光客を利用増を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>秋の行楽シーズンは、天候に恵まれ、観光客需要は国内外ともに堅調だった。また、忘年会等の宴会需要は企業や団体の利用が増加した。今後も、人手不足の影響が予想されるが、本格的な冬季シーズンとなり宿泊施設・旅客ともにスキーなどによる外国人観光客の需要が増加することで、スキー場周辺地域を中心に利用客の増加を見込む。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客は、人手不足の影響が予想されるが、ウィンタースポーツを目的とした外国人観光客や国内の団体利用客の需要が見込まれ、利用客数の増加を見込む。</li> <li>● 宿泊施設は、スキー場周辺地域を中心に需要の増加が見込まれる。また、新年会や送別会などの宴会需要は、堅調に推移する見通し。</li> </ul>